

時短・業務改善 実際の導入事例

東北医科薬科大学病院様

のケース

手術部師長 三浦様
事務担当 藤島様

CASE STUDY

非効率な電話対応を減らすことで、
業務の効率化につながりました。

— 卸業者(中間業者)の方とのやり取りがスムーズに —

整形外科や脳神経外科の手術では借用器械の搬入が多く、卸業者の方とのやり取りが頻繁に発生します。電話では伝達ミスがないよう、内容をメモしながら慎重に対応しており、常に気を遣っていました。**メッセージ機能を活用することで、伝達ミスの心配が減り、スムーズなやり取りができるようになりました。**

——— 今、オペ室に誰がいるのかが分かる ———

業者の方には入退室時にチェックイン・チェックアウトを行っていただいているため、**画面を見るだけで、すでに到着しているのか、まだ院内にいるのかなど、業者の動きを一目で把握できるようになりました。**今後はSPDへの設置も検討しています。

——— 誰が来るのか事前に分かる ———

以前は、忙しい朝の時間帯に突然業者の方が来訪し、その場で医師への確認や調整が必要になることがあり、対応が負担になっていました。**現在はMONITAROで翌日の立会い予定を事前に確認できるため、余裕を持って準備・対応できています。**